

PS 通信

平成25年 春号

発行 平成25年2月6日

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

<http://ps-kaigi.net>

2012年を終えて

会長 二宮 久夫

日一日と春を思わせる季節となりました。

皆様、お変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(PS会議)も1年を通して企画した主な行事を無事に終えたところです。

ひとえにご参加いただいた皆様のおかげと感謝申し上げます。次年度に向けてさらに前向きな企画を考え「環境都市宣言」をした春日井市の名に恥じない活動ができるよう頑張っていきたいと思っております。

24年度はPS会議設立10周年という節目でもあり、生物多様性を念頭に置いた活動を行い、私達を取り巻く環境とりわけ、山、川、海にいたる流域圏を想定したイベントを企画し、実施してまいりました。

特に、昨年9月は県外に出かけ、奈佐の浜プロジェクトに参加しました。三重県の答志島へ清掃に出かけるというものでしたが、愛知県から100名の募集に対し私達PS会議からは22名の皆さんが参加しました。

総勢500人余りが一堂に集まり伊勢湾の1/4のゴミが入るといわれる奈佐の浜をきれいにできたこと、大勢のボランティアが参加したことは大変すばらしい活動であったと思っています。継続して、本年1月には、河村名古屋市長を招いて「第2回ゴミと水を考える集い」が開催され、出席しました。私たちの参加が大いに役立ったと思っています。

新年度からはもう少し、私達の身近な問題に視点を移し市民団体やPS会議の会員を含めて意志疎通を図りながら交流できる企画をめざしていこうと考えています。

現在、新規事業として親子でPS会議の活動に参加していただくことを検討しておりますので、これからもPS会議の活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

小学生対象 10年ぶり工場見学再開

事業者会員 パナソニックエコシステムズ(株)



パナソニックエコシステムズグループは『人と地球に優しい環境』実現に向けて「環境技術で社会生活の改善と向上を図り、地球環境と共存できる社会づくりの貢献」に取り組んでいます。

この度、当社春日井工場に於いて、未来を担う子ども達の環境教育を目的に工場見学を10年ぶりに再開致しました。

再開初年度の2012年度は、春日井市内の小学校3校が来社、工場をご見学いただきましたのでご紹介いたします。

まず、最初に環境授業として『地球温暖化のお話』を、その後、当社の環境取り組み紹介の中で「エネルギーの無駄をなくすための工夫」や「塗料やプラスチックを再利用する仕組み」などの説明を社員から受け、実際に工場やショールームを見学します。

廃棄物を23種類に分別してリサイクルを進める様子や、太陽光発電の装置なども見学していただきました。見学の記念品として当社のリサイクル材を利用して特別に作成したファンシー定規をお持ち帰り頂いています。

当社はこれからも積極的に小学校の工場見学を受け入れ、次世代を担う子ども達の環境意識の向上にお役に立ちたいと考えています。



春日井里山保存会

グループリーダー 井上 栄

昨年9月築水池の泥栓を開いたことにより、底のヘドロが大谷川に大量に流出し保護していたホタルの幼虫をはじめカワムツ等川に生息する生物は窒息によりほとんど死滅し、河床も上り水生生物が生息する環境に現在ありません。また、ピオトープにも大量に流入し水面が泥で覆われカワニナ等水生生物が必死に生きています。自然環境保護活動が一瞬で壊れ残念です。

しかし、こうしたなか12月初旬にピオトープで春日井市指定希少野生動植物種のカヤネズミの生息が確認されました。4年位前ピオトープ付近でカヤネズミが走るのを見かけたので敷地内の萱場を柵や不倒杭等を設置し生息できるよう環境整備したところ巣3個が確認できました。活動の甲斐があったと会員一同大喜びです。これからも更なる自然環境保護活動に頑張ります。



「弥勒山」から「築水池」周辺にかけては、自然に恵まれた「森林地帯」が広がっています。

しかし、その中に、素晴らしい「都市緑化植物園」や「春日井市少年自然の家」に隣接し、最も自然体験の出来る場所であるべき所に、放置された「荒地」があります。この地に、当グループでは、昨年「みどりの森づくり」を計画し「植樹祭」等のボランティア活動を開始しました。

昨年の「第1回みどりの森づくり植樹祭」では、「コバノミツバツツジ」220本を植樹し、草刈り、雑草防止・流土防止・乾燥防止の竹チップの散布や麻袋シートの貼付けなどの努力を重ね、枯れずに根付いてくれました。しかし、「イノシシ」がやって来るようになり、数株が駄目にされてしまいました。ミミズなどの生物が生息し始め・生物多様性・自然環境の復活に繋がっているものと思われま

す。
今年も、「3月2日(土)」に「第2回みどりの森づくり植樹祭」を実施しますので、皆様の参加、又は、植樹後のボランティア活動の参加をお待ちしています。(植樹場所；写真参照)。



市民環境ゼミナール「大気グループ」

グループリーダー 舟橋 美鈴

今年度「春日井の大気汚染調査」は“5年に一度のダイオキシン類濃度測定”として、高蔵寺中学校周辺地域で実施しました。

【評価】

今年度は、定量下限値未満の異性体が多かったため、毒性等量濃度については幅が大きく、0.12~0.73pg-TEQ/gの間にあることが分った。WHO方式では0.42pg-TEQ/gとなった。

今回測定した松葉中のコプラナーPCB(Co-PCB)が毒性等量濃度合計の10%~20%と仮定して推計し、全ダイオキシン類濃度を求め、その上で大気中の濃度を松葉の10分の1として算出した。(但し四捨五入して有効数字2桁表記としたため合計が一致しない場合がある。)

測定結果から大気中のダイオキシン類濃度は0.013~0.091pg-TEQ/m³と推定され、環境基準値(年平均で0.6pg-TEQ/m³以下)を大幅に下回っていることが分った。

全国平均値並みの低い水準であったが、今後も維持・改善されるかどうか、監視していくことが望ましい。

- (注) MDL : 定量下限値(pg/g)
- ND : 定量下限値以下(未満)
- ND処理方式
- ア. WHO方式 : ND = 1/2MDL
- イ. EPA方式 : ND = MDL
- ウ. MHW方式 : ND = 0 を採用

1. 松葉に含まれるダイオキシン類濃度 (1) 実測濃度

ND処理方式	実測濃度 (pg/g)		
	PCDD	PCDF	合計
WHO方式	11	9.1	20
EPA方式	11	9.5	20
MHW方式	11	8.7	19

(2) 毒性等量濃度

ND処理方式	毒性等量濃度 (pg-TEQ/g)		
	PCDD	PCDF	合計
WHO方式	0.24	0.18	0.42
EPA方式	0.47	0.26	0.73
MHW方式	0.0082	0.11	0.12

2. 松葉に含まれるダイオキシン類濃度から推計した大気中のダイオキシン類濃度 (1) 毒性等量濃度

ND処理方式	毒性等量濃度 (pg-TEQ/g)		
	PCDD+PCDF	Co-PCB推計値	PCDD+PCDF+Co-PCB
WHO方式	0.42	0.047~0.11	0.47~0.53
EPA方式	0.73	0.081~0.18	0.81~0.91
MHW方式	0.12	0.013~0.030	0.13~0.15

(2) 大気中濃度推定値

ND処理方式	大気中濃度推定値 (pg-TEQ/m ³)	
	PCDD+PCDF+Co-PCB	
WHO方式	0.047 ~ 0.053	
EPA方式	0.081 ~ 0.091	
MHW方式	0.013 ~ 0.015	

環境調査グループ なずなの会

グループリーダー 梶田 美登里

環境調査を始めて20余年。大気汚染調査、酸性雨調査、河川調査を続けてきました。大気汚染と酸性雨は20年前とほとんど差がありません。河川では以前より水質が良くなっています。公共下水道の普及が24年3月末時点で66.01%と進んだ結果だと思います。

24年度から市内の空間放射線量を計ることにしました。23年3月11日の東日本大震災による福島第一原発の事故は心に大きな不安と恐怖心をいただきました。

そこで、放射線・放射能について講座を開き、又本で学ぶことにしました。簡易放射線測定器5台で市内100ヶ所の空間放射線量を計りました。すべての地点で原発事故の影響なしの結果でした。

きれいで美しい豊かな自然を未来に残したいものですネ。



放射線量測定



特定非営利活動法人かすがいネイチャー

事務局長 奥村 昇次

高森山に棲むニホンリスの生息状況調査や保全活動を日頃行っています。具体的には、毎月高森山の6か所の給餌台に50個づつオニグルミを置き、次月リスの食べた個数や食べたクルミから子リスかじりが無いか等確認し、生息状況を調査しています。時々直接リスに出くわす幸運な時もあります。そのクルミを木曽川河川敷に9月～10月にかけて拾いに行くことも毎年の活動です。

又、ニホンリスはじめ野生動物の為に高森山から少年自然の家の築水の森に緑をつなげる活動も継続して行い、マスプロ電工殿の敷地にどんぐりの苗木やクルミの木を植樹しています（写真参照）。

いつか、高森山と築水の森のそれぞれのニホンリスが交流することを夢見ています。メンバーは大学教授、樹木医、環境カウンセラー、主婦、介護士、サラリーマンなど自然大好きで楽しい爽やかな仲間ばかりです。



かすがい東部丘陵自然観察会

会長 高橋 匡司

2004年に発足した自然観察会です。よろしくお願いたします。

春日井市東部丘陵地には東海地区特有な自然環境に依存した多様な動植物が生活しています。私たちはそうした自然環境を大切に保存し次世代に伝えるため、自然体験案内や気軽に参加できる観察会を開いています。

昨年も市内小学5年の「野外学習」での自然観察のサポートを、また、当地の自然観察と保全活動の一端を学ぶ「なごや環境大学」共催講座を開きました。

春4月半ばには、希少種ではあるもののまだ身近に見られる「春の女神」ギフチョウの観察・保全活動体験会を計画しております。皆さんの参加をお待ちしております。

例会：毎月第3土曜日午前中

集合：少年自然の家玄関

年会費：1,000円

連絡先：0568-92 - 4129（高橋）



活動報告 ～ 春日井まつり「エコワールド」～

10月20日(土)、21日(日)の2日間にわたり、春日井まつり中央公園会場において「エコワールド」を春日井市との共催で実施しました。

当会議の市民団体会員や事業者会員を始め、市民・事業者・市の協働で様々な環境に関するイベントや展示を行いました。

当会議は、昨年に引き続き、好評だった紙トンボ作りを行いました。いらなくなった牛乳パックを活用することにより、ごみからおもちゃができることを教え、子どもたちは楽しみながら紙トンボ作っていました。また、かすがい東部丘陵自然観察会、里山保存会、環境調査グループなすなの会、環境学習ネットワークグループが日頃の活動についてパネル展示を行いました。

エコワールド開催にあたりご協力いただいた皆様は次のとおりです。（順不同）

春日井スカウト団協議会

かすがいシェアリングネイチャーの会

サービス・ツアー・ネイチャー・春日井

王子製紙(株)春日井工場

パナソニックエコシステムズ(株)

花王(株)



活動報告 ～ 10周年記念イベント「木を植えた人」を聴く会 ～

11月6日(火)に、見返りを求めず、ただ一人、荒れ地に木の実を植え続け、ついには森を蘇らせた老農夫の物語である、ジャン・ジオノ作「木を植えた人」の朗読会を開催し、45名の方が参加されました。

朗読には、同様の企画を全国各地で行っている榊原忠美さんをお招きしました。今回で304回目の公演になるそうです。

榊原さんの素晴らしい朗読に皆さん引き込まれ、朗読を通じ環境問題について考えることができました。

また、今回は特別にミニ朗読も行っていただき、こちらにも参加者に大変好評でした。



活動報告 ～ 10周年記念講演会「自然を愛するスウェーデン・人と国」～



12月12日(水)に、環境先進国であるスウェーデンの自然への接し方などを学ぶ講演会をレディヤンかすがいにおいて開催し、70名と多くの方が参加されました。

講師には、スウェーデン大使館広報文化担当官アダム・バイエ氏をお招きしました。

スウェーデンに古くからある「自然享受権」(土地の所有者に損害を与えない限りにおいて、すべての人に対して他人の土地への立ち入りや自然環境の享受を認める権利)という考え方やスウェーデン人の気質などをご自身の体験を交えながら話していただきました。

講演のあと、質問時間を設け、参加者からは講演会の内容はもちろんのこと、スウェーデンの再生可能エネルギーや環境教育などに関する質問が活発に出され、有意義な時間となりました。

東春信用金庫様からご寄附をいただきました

12月18日(火)に、東春信用金庫様から、環境問題に向けての取組みの一環として、昨年度に引き続き寄附金をいただきました。

これは、環境保護を目的とした金融商品「とうしゅんエコ積金」を販売し、その販売口数等に応じた金額を東春信用金庫様が拠出して、地域の地域環境に関する公益的な社会貢献活動を行なっている市民団体に寄附しているものです。

いただきました寄附は、環境活動の推進のため有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



会員募集中！！

当会議は市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、平成14年12月に設立しました。今回寄稿された団体の他、いろいろな団体が活動しています。

現在会員を募集中！私たちと一緒に環境まちづくりに取り組みませんか？

問い合わせ 申込み

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議 (事務局:春日井市役所 環境政策課内)

電話:0568-85-6216 FAX:0568-84-8731 Eメール:kansei@city.kasugai.lg.jp